

# 神奈川大学の思い出

平成18年経済学部経済学科卒

## 坂本 行央

私は、平成14年4月に故郷北海道の公立高校から二年間の予備校生活を経て経済学部経済学科に入学しました。

二年間に亘って関西圏の私立大学を志望校に受験勉強を続けた私にとって、試験日程の都合上、模擬試験感覚で唯一受験した首都圏の私立大学に進学する結果となり、大きな挫折感の中でキャンパス生活が始まりました。

神奈川大学と聞いても、箱根駅伝の印象しか無く、関西圏の志望校へ編入入学する道を模索し、挑戦する目標を立てた程でした。

しかし、いつまでも下を向いてばかりいても面白いはずもなく、どこかサークルに入会しようと思ひ、簿記試験や税理士、公認会計士試験に挑戦するメンバーが集う会計学研究部に所属しました。このサークルでの出会いが私にとって大きな転機となりました。総合大学ゆえに北は北海道から南は長崎まで、絶対数では首都圏出身者が多数を占める中で、地方出身者も少なくなく、親元を離れ孤立無援であった横浜暮らしを支えてくれる大きな存在となり

ました。卒業後十年が経過しようとする今日でも、同窓生とはお互いに時間を作り大阪や東京で食事をする機会を大切にしており、一生涯の友人として、社会の中で切磋琢磨している姿に刺激を受け、自身の明日への活力源としています。

必ずしも大きな夢を抱き、期待感を胸に入学した母校ではありませんでした。四年間を過ごした横浜キャンパスの学舎へ東京出張の際などに立ち寄る時、不思議なもので学生当時の記憶が鮮明に蘇り、母校の大きさ、温かさを感じる瞬間でもあります。

学生生活を関西圏で過ごすことは出来ませんが、逆に、その悔しい結果を大きな力に変える事に成功し、晴れて社会人スタートの地を大阪で迎える事が出来ました。高校から数え八年越しの夢を叶えさせてくれた神奈川大学の日々。今もなお、感謝の一言しかありません。



平成23年 大阪府宮陵会 総会



平成16年 大阪府宮陵会の中国旅行